

三菱食品株式会社
2015年度(2016年3月期)
第2四半期 決算説明会

2015年11月6日

目次

1. 2015年度(2016年3月期)第2四半期(2015年4～9月)
決算概要
2. 2015年度施策の実行状況

1. 2015年度(2016年3月期)
第2四半期(2015年4～9月)
決算概要

2015年度(2016年3月期)第2四半期 連結業績(前期比)

(単位:億円)

	2014年度	2015年度	
	実 績	実 績	前期比
売上高	11,880	11,990	110
営業利益	59	72	14
経常利益	71	82	11
親会社株主に帰属する 四半期純利益	47	68	21
1株当たり 四半期純利益(円)	81.49	118.57	37.08
1株当たり配当金(円)	21.00	21.00	0.00
純資産	1,331	1,444	113

- ◆ 売上高は、スーパーマーケット等を中心に取引が総じて堅調に推移し、増収
- ◆ 利益面は、物流費が増加するも、売上総利益の増加等により増益
- ◆ 配当は、基本方針である安定配当の維持から前期と同額

2015年度(2016年3月期)第2四半期 品種別売上高(前期比)

(単位:億円)

	2014年度		2015年度		前期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
缶詰・調味料類	1,318	11.1	1,354	11.3	37	2.8
麺・乾物類	721	6.1	746	6.2	25	3.5
嗜好品・飲料類	1,336	11.2	1,404	11.7	68	5.1
菓子類	1,262	10.6	1,300	10.9	38	3.0
冷凍食品類	2,210	18.6	2,308	19.2	98	4.4
チルド食品類	2,366	19.9	2,157	18.0	▲209	▲8.8
ビール類	1,166	9.8	1,184	9.9	18	1.5
その他酒類	926	7.8	928	7.7	2	0.2
その他	576	4.9	610	5.1	33	5.8
合計	11,880	100.0	11,990	100.0	110	0.9

- ◆「缶詰・調味料類」「麺・乾物類」「ビール類」は、消費増税後の反動減からの回復等により増加
- ◆「嗜好品・飲料類」は、CVSカウンターコーヒーの好調、気温上昇の影響による飲料類の伸長で増加
- ◆「冷凍食品類」は、業務用冷凍商材等が堅調に推移し増加
- ◆「チルド食品類」は、CVS向け弁当製造ベンダーとの取引形態変更の影響を除くと実質増加

2015年度(2016年3月期)第2四半期 業態別売上高(前期比)

(単位:億円)

	2014年度		2015年度		前期比増減	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	率(%)
卸売	1,082	9.1	1,049	8.7	▲33	▲3.0
GMS	945	7.9	928	7.7	▲17	▲1.8
SM	4,429	37.3	4,568	38.1	139	3.1
CVS	3,689	31.1	3,605	30.1	▲84	▲2.3
ドラッグストア	458	3.9	489	4.1	30	6.6
ユーザー	303	2.5	313	2.6	10	3.2
その他直販	819	6.9	882	7.4	63	7.7
メーカー・他	155	1.3	156	1.3	2	1.0
合計	11,880	100.0	11,990	100.0	110	0.9

- ◆ 「SM」は、昨年の消費増税後の反動減からの回復等により増加
- ◆ 「CVS」は、弁当製造ベンダーの取引形態変更の影響を除くと実質増加
- ◆ 「その他直販」は、ディスカウントストアやEC事業者との取引が増加

2015年度(2016年3月期)第2四半期 特別損益明細(前期比)

(単位:億円)

	2014年度	2015年度	
	実績	実績	前期比
投資有価証券売却益	1	16	15
固定資産売却益	1	8	8
【 特別利益 】 計	2	24	22
固定資産売却損	1	0	▲1
投資有価証券評価損	－	2	2
減損損失	2	3	1
その他	0	0	0
【 特別損失 】 計	3	6	3
特 別 損 益	▲1	19	20

◆引き続き資産の健全化に取り組み、投資有価証券や有形固定資産の売却損益・減損損失が発生

2015年度(2016年3月期)第2四半期 B／S(前期比)

(単位:億円)

	2014年度	2015年度 第2四半期	
	3月末	9月末	前期比
流動資産	4,568	4,863	295
固定資産	1,204	1,201	▲3
総資産	5,772	6,064	292
流動負債	4,166	4,419	253
固定負債	216	201	▲15
負債合計	4,382	4,620	238
純資産	1,390	1,444	54
1株当たり純資産(円)	2,416.01	2,522.59	106.58
自己資本比率	23.9%	23.8%	▲0.1P

2015年度(2016年3月期)第2四半期 セグメント別業績(前期比)

(単位:億円)

	売 上 高				営 業 利 益		
	2014年度	2015年度	増減額	増減率(%)	2014年度	2015年度	増減額
加工食品	3,722	3,756	35	0.9	11	13	2
低温食品	4,793	4,768	▲24	▲0.5	49	56	7
酒類	2,101	2,166	65	3.1	0	4	4
菓子	1,253	1,289	37	2.9	1	5	4
その他・調整	12	10	▲2	▲15.7	▲3	▲6	▲3
合 計	11,880	11,990	110	0.9	59	72	14

- ◆ 加工食品：消費増税後の反動減からの回復や気温上昇の影響等により増収増益
- ◆ 低温食品：弁当製造ベンダーの取引形態変更の影響を除くと実質増収、売上総利益の増加等により増益
- ◆ 酒 類：消費増税後の反動減からの回復等により増収、販管費の削減により増益
- ◆ 菓 子：各小売業態での取引が堅調に推移し増収、売上総利益の増加や在庫管理精度の向上により増益

2015年度(2016年3月期)第2四半期 設備投資等の状況

(単位:億円)

	第2四半期実績		【ご参考】 年間計画	
	投資額	償却額・ 支払リース料	投資額	償却額・ 支払リース料
設備投資(リース含む)	13	26	33	53
システム開発等	48	7	87	17
合 計	60	32	121	71

- ◆ 設備投資は既存物流センターの庫内設備工事等が中心
- ◆ システム開発等は次世代システム(2016年度稼働開始予定)構築に対する投資

次世代システム【MILAI(ミライ)】の概要

- ・MILAI(ミライ): "Mitsubishi-shokuhin's Integrated systems for Lasting and Accelerative Innovation"
- ・2016年4月稼働予定

Multi Device

マルチデバイスを活用したワークスタイル変革

Big Data

ビッグデータ活用プラットフォームの整備



Cloud

クラウド環境活用によるシステム構築・運用コストの削減

BCP

食品流通を支えるMILAIシステムのBCP環境整備



BPR

営業・物流・職能業務プロセスの最適化と継続的なBPR推進

Internal Control

ダッシュボード・アラート機能による牽制強化



Master Data

共通マスタシステムによるマスタデータの集中管理

Code

コード体系の再整備・管理の向上



2015年度(2016年3月期) 業績予想

(単位: 億円)

	2014年度		2015年度		前期比	
	実 績	売上比 (%)	業績予想	売上比 (%)	額	率(%)
売上高	23,373	—	23,500	—	127	0.5
営業利益	153	0.7	157	0.7	4	2.9
経常利益	172	0.7	175	0.7	3	1.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	98	0.4	110	0.5	12	12.8
1株当たり当期純利益(円)	170.67	—	192.51	—	21.84	—
1株当たり配当金(円)	42.00	—	42.00	—	0.00	—

2. 2015年度施策の実行状況

当社を取り巻く環境の再認識

	環境変化
生活者	緩やかな 景気回復 インバウンド 消費 メリハリ 消費
メーカー様	PB対応 原料高騰による 単価上昇
小売業様	相次ぐ 提携・M&A 異業態間競争 の激化 個店重視
全 般	物流費の高騰 労働力の不足

戦略の方向性と2015年度施策

2015年度 = 『戦略の実行ステージ』

持続的な成長へ

売上高3兆円、経常利益300億円への飽くなき挑戦

「中間」から「中核」へ

流通最適化
に向けた
機能強化

成長市場
への
対応強化

2015年度施策の実行状況①

流通最適化
に向けた
機能強化

“For Everyone” から
“For You” へ

機能の対価
としての契約

営業・物流機能
サポート

◆ エリア別・顧客別対応の強化

◆ 小売業への販売実績に応じた契約
◆ メーカー様商品の販売アップ、販促
企画・キャンペーン等

◆ 物流代行、物流コスト改善、
営業代行

2015年度施策の実行状況②

成長市場への 対応強化

海外

- ◆ 広州の関係会社を通じた食品販売事業の展開
- ◆ 既存投資先の業容拡大

業務用

- ◆ インターネット販路拡大
- ◆ リクエ事業の拡大

ウェルネス

- ◆ 組織変更、広域小売業向け体制整備
- ◆ 売場提案、物流スキーム改善